

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,655	3.8	16	—	28	—	13	—
26年3月期第2四半期	4,483	3.0	△43	—	△36	—	△78	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △1百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.38	—
26年3月期第2四半期	△7.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	9,745	6,746	69.2	677.19
26年3月期	9,791	6,861	70.1	686.54

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,746百万円 26年3月期 6,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	2.7	65	537.3	80	323.1	35	—	3.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,545,133 株	26年3月期	10,545,133 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	582,183 株	26年3月期	550,386 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,987,489 株	26年3月期2Q	10,041,059 株
----------	-------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①一般概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策により企業業績や雇用環境の改善がみられ、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方、消費税増税前の駆け込み需要の反動や夏季の天候不順による個人消費の停滞、急激な円安、さらには地政学的リスクや海外経済の下振れ懸念などにより、先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による収受料金の低下がみられるほか、運賃仕入れコストの値上げ、燃料費の高止まり、人手不足ならびに労務コストの上昇といった事業環境にある中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しい状況となっております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実および輸配送にかかる商品開発に取組み、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大に最大限注力しつつ、業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、一部既存顧客に消費税増税前の駆け込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、新規顧客の導入と既存顧客の物流拠点拡大等に対処し、業務拡大を図ったことにより、前年同期間と比較して3.8%増の46億55百万円の計上となりました。しかしながら、利益面におきましては、運賃仕入れコストの値上げ、労務コストの上昇、燃料費の高止まりなどによる費用増加のほか、国内物流拠点拡大と輸配送にかかる商品開発にともなう一過性の初期費用の計上を余儀なくされ、さらには、顧客の業務量拡大にあわせた業務品質の維持・向上に対処したため、労務費の増加をまねいてしまったことにより、営業利益は、黒字転換を図れたものの、16百万円（前年同期間は43百万円の営業損失）に止まりました。また、経常利益は28百万円（前年同期間は36百万円の経常損失）、四半期純利益は13百万円（前年同期間は78百万円の四半期純損失）となりました。

②報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、一部既存顧客に消費税増税前の駆け込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実により、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大を図ったことにより、営業収益は前年同期間と比較して4.8%増の45億68百万円となりました。また、営業総利益は、国内物流拠点拡大にともなう一過性の初期費用の計上や業務量の拡大にあわせた業務品質の維持・向上に対応したため、労務費の増加をまねいてしまったものの、営業収益の増加により、前年同期間と比較して17.8%増の4億50百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、輸配送にかかる商品開発の取組みにより、新規顧客の導入が図れたことから、営業収益は前年同期間と比較して9.0%増の5億55百万円となりました。一方で、営業総利益は、不採算業務の効率化などのコスト改善に努めたものの、燃料費の高止まりやドライバー不足による費用増加のほか、輸配送にかかる商品開発にともなう一過性の初期費用が発生したことにより、前年同期間と比較して76.2%減の4百万円に止まりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、流通加工にかかる取扱物量の減少により、営業収益は前年同期間と比較して1.3%減の6億5百万円となりました。また、営業総利益は、労務コストの上昇が見られる中、作業の効率化に努めたことにより、前年同期間と比較して1.2%増の41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

A. 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円（△0.5%）減少し、97億45百万円となりました。

この主な要因は、その他の流動資産が立替金の増加により89百万円増加した一方で、現金及び預金が97百万円、有形固定資産の合計が66百万円減少したことによるものであります。

B. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ68百万円(2.3%)増加し、29億98百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金が80百万円減少したものの、短期借入金46百万円、未払法人税等が26百万円、その他の流動負債が23百万円増加したことによるものであります。

C. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円(△1.7%)減少し、67億46百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が前期剰余金処分に伴う期末配当金の支払により1億4百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが1億48百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが73百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが1億47百万円の減少となり、現金及び現金同等物に係る換算差額等を調整し、当第2四半期連結会計期間末には、29億36百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より91百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得された資金は、1億48百万円(前年同期間は1百万円の支出)となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の資金増29百万円(前年同期間は1億円の収入減)、減価償却費の資金増1億32百万円、未払消費税等項目の資金増46百万円ならびにその他項目の資金減94百万円のほか、法人税等の還付額34百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は、73百万円(前年同期間対比0.7百万円の支出減)となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出65百万円(前年同期間対比27百万円の支出増)があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は、1億47百万円(前年同期間対比2百万円の支出増)となりました。

この主な要因は、ほぼ同額での短期借入金の借入および約定返済がある一方で、長期借入金の返済による支出20百万円のほか、配当金の支払額1億4百万円ならびに自己株式の取得による支出8百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,036,578	2,939,331
受取手形及び売掛金	1,070,133	1,101,065
前払費用	40,117	51,135
原材料及び貯蔵品	11,858	11,760
繰延税金資産	77,432	70,011
未収法人税等	35,254	671
その他	130,695	220,677
貸倒引当金	△214	△233
流動資産合計	4,401,855	4,394,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,202,719	8,207,852
減価償却累計額	△6,051,767	△6,137,630
減損損失累計額	△104,535	△104,535
建物及び構築物(純額)	2,046,417	1,965,687
機械装置及び運搬具	2,085,231	2,072,975
減価償却累計額	△2,006,369	△1,970,073
機械装置及び運搬具(純額)	78,861	102,901
土地	1,574,272	1,574,272
その他	442,044	445,656
減価償却累計額	△352,135	△365,602
その他(純額)	89,909	80,053
有形固定資産合計	3,789,460	3,722,914
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	95,130	89,452
無形固定資産合計	553,616	547,938
投資その他の資産		
投資有価証券	509,746	515,114
繰延税金資産	193,523	200,922
その他	354,244	374,262
貸倒引当金	△10,583	△10,137
投資その他の資産合計	1,046,930	1,080,161
固定資産合計	5,390,007	5,351,015
資産合計	9,791,863	9,745,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	465,409	464,235
短期借入金	530,000	576,000
未払費用	127,049	146,403
未払法人税等	8,784	34,897
賞与引当金	64,922	71,448
役員賞与引当金	-	7,675
その他	106,974	130,435
流動負債合計	1,303,140	1,431,094
固定負債		

社債	500,000	500,000
長期借入金	460,000	380,000
役員退職慰労引当金	96,854	105,055
退職給付に係る負債	570,052	582,464
固定負債合計	1,626,907	1,567,519
負債合計	2,930,047	2,998,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,562,845	2,471,692
自己株式	△145,503	△153,897
株主資本合計	6,721,191	6,621,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,479	92,936
為替換算調整勘定	51,144	32,241
その他の包括利益累計額合計	140,624	125,177
純資産合計	6,861,816	6,746,821
負債純資産合計	9,791,863	9,745,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益	4,483,692	4,655,186
営業原価	4,054,183	4,165,366
営業総利益	429,508	489,820
販売費及び一般管理費	473,233	473,213
営業利益又は営業損失(△)	△43,724	16,606
営業外収益		
受取利息	454	468
受取配当金	13,813	18,495
受取賃貸料	2,015	2,003
その他	3,831	5,523
営業外収益合計	20,115	26,491
営業外費用		
支払利息	8,218	9,673
支払補償費	3,057	3,987
その他	2,045	1,015
営業外費用合計	13,321	14,676
経常利益又は経常損失(△)	△36,931	28,421
特別利益		
固定資産売却益	49	1,556
特別利益合計	49	1,556
特別損失		
固定資産除売却損	11,893	245
減損損失	51,917	-
特別損失合計	63,811	245
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△100,692	29,732
法人税、住民税及び事業税	12,244	17,830
法人税等調整額	△34,507	△1,889
法人税等合計	△22,262	15,941
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△78,429	13,791
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,429	13,791

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△78,429	13,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,602	3,456
為替換算調整勘定	41,693	△18,903
その他の包括利益合計	74,296	△15,446
四半期包括利益	△4,133	△1,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,133	△1,655
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△100,692	29,732
減価償却費	130,519	132,078
減損損失	51,917	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	290	△426
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,048	6,526
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,850	7,675
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29,013	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	12,411
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,557	8,201
受取利息及び受取配当金	△14,268	△18,964
支払利息	8,218	9,673
固定資産除売却損益(△は益)	11,843	△1,310
売上債権の増減額(△は増加)	87,949	△30,932
たな卸資産の増減額(△は増加)	72	98
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,510	△1,174
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,532	46,144
その他	△60,810	△94,684
小計	47,691	105,047
利息及び配当金の受取額	14,268	18,964
利息の支払額	△7,340	△9,555
法人税等の支払額	△56,577	-
法人税等の還付額	-	34,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,957	148,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
出資金の回収による収入	50	-
有形固定資産の取得による支出	△37,945	△65,601
有形固定資産の売却による収入	422	1,598
投資有価証券の取得による支出	△24,571	-
貸付けによる支出	△1,250	△3,350
貸付金の回収による収入	370	705
その他の支出	△17,502	△13,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,426	△73,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,000	430,000
短期借入金の返済による支出	△663,000	△444,000
長期借入金の返済による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△5,570	△8,393
配当金の支払額	△105,059	△104,845
その他の支出	△857	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,487	△147,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,693	△18,903
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△179,178	△91,246
現金及び現金同等物の期首残高	2,931,087	3,027,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,751,908	2,936,331

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,349,749	49,604	66,497	4,465,852	17,839	4,483,692
セグメント間の内部営業収益又は振替高	8,020	459,551	546,547	1,014,119	63,570	1,077,690
計	4,357,770	509,156	613,045	5,479,971	81,410	5,561,382
セグメント利益	382,199	18,684	40,617	441,501	8,745	450,246

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	4,483,692
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,077,690	—
計	△1,077,690	4,483,692
セグメント利益	△20,737	429,508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△20,737千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において51,917千円であります。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,548,187	60,082	30,673	4,638,943	16,243	4,655,186
セグメント間の内部営業収益又は振替高	20,501	494,992	574,410	1,089,904	70,692	1,160,596
計	4,568,688	555,074	605,083	5,728,847	86,936	5,815,783
セグメント利益	450,370	4,448	41,094	495,913	10,442	506,356

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	4,655,186
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,160,596	—
計	△1,160,596	4,655,186
セグメント利益	△16,536	489,820

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△16,536千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。